



心踊る、文化咲く

第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭 よさこい高知文化祭2026

令和8年10月25日(日)～12月6日(日)

よさこい高知 文化祭2026とは

第41回国民文化祭、第26回全国障害者芸術・文化祭の統一名称(愛称)です。全国規模の文化の祭典で毎年各県持ち回りで行われており、期間中、県内各地で全国大会や地域の特色を生かしたイベントが開催されます。

主催：文化庁、厚生労働省、高知県、県内市町村ほか

大会ホームページ▶



香南市での事業

■生涯学習課 ☎50-3020

文化交流事業

全国から集まる文化団体や参加者が、発表・共演・交流を通じて地域や世代、分野を超えてつながることを目的とした事業

全国漢詩の祭典(全国大会)

日時 令和8年10月31日(土) 13時00分～16時30分

場所 のいちふれあいセンター サンホール



全国や海外から募集した漢詩作品の中から、優秀作品を決定します。優秀作品は吟詠を添えてスクリーン上で芸術性豊かに披露されます。
高知県指定史跡吸江寺の住職である小林玄徹氏による記念講演および高知県津野町出身五山文学の双壁と言われた義堂周信、絶海中津の作品を構成吟詠にて披露します。

※漢詩にナレーションや映像、詩舞、照明など演出を凝らして構成する総合的な舞台芸術

地域文化発信事業

地域文化の特色を十分に発揮し、魅力を発信する事業



◀詳しくはコチラ

全国地芝居サミットin弁天座

全国の地芝居団体の代表者によるパネルディスカッションと、土佐絵金歌舞伎伝承会による歌舞伎を披露します。

日時 11月1日(日) ※時間未定

場所 弁天座



香南市美術展覧会所蔵作品展

図書館等に所蔵されている美術品の展示を行います。

日時 11月7日(土)～15日(日)
10時00分～17時00分

場所 野市図書館



香南市図書館まつり

本や物語の世界を楽しめる展示会やワークショップ等のイベントを行います。

日時 10月31日(土)～11月1日(日)

※時間未定

場所 野市図書館



香南市伝統芸能まつりin弁天座

市内で活動している伝統文化の各団体が一堂に会し、香南市伝統芸能を披露します。

日時 11月8日(日) ※時間未定

場所 弁天座



※詳細は広報誌「こうなんNOW」10月号に掲載します



7月10日から20日は「部落差別をなくする運動」強調旬間です

そっとしておけば、なくなるの？

■人権課 ☎57-8507

部落差別(同和問題)とは 日本社会の歴史的過程で形成され、身分階層を起源とする日本固有の人権問題です。

寝た子を起こすな論で解決？

寝た子を起こすな論とは、部落差別などの人権問題において、「知らない人にわざわざ問題の存在を教える必要はなく、そっとしておけば自然に差別はなくなる」という表面化させないで平穏を保とうとする考え方です。



香南市が行った市民意識調査でも、以下のような回答があります。(一部抜粋)

時代と共に意識しなくなってきているのでは

知らない世代にわざわざ教えないでいいと思う

差別してはダメダメと言い続けると、余計に差別する人間が出てくる

問題にするから問題になる

※出典 令和5年度 香南市 人権に関する市民意識調査 結果報告書

確かに、日常生活で意識することが少なくなれば、「このまま風化させた方が穏便に解決する」と考える人もいるかもしれません。しかし、本当に「知らないこと」「教えないこと」が解決につながるのでしょうか？

ネット空間が寝た子を起こしている！

かつては、噂話や周囲から偏見が伝わるのが大半でした。しかし現代は、多くの人が膨大な情報に触れることができる時代です。インターネット上の掲示板やSNSのまとめ記事で、偶然、悪意あるデマや差別的な書き込みを目にすることがあります。

「知らないまま」ではなく「正しく知る」

歴史や背景を「知らないまま」でいることは、解決ではなく、あなたの次の世代を偏見やデマに対して無防備なまま社会に送り出すことです。大切な子どもたちが誤った情報に惑わされないように、「正しく理解し、一人一人の人権が尊重される意識づくり」が求められています。



正しく知ろう！

2026香南市「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 人権講演会

私は部落から逃げてきた

7月21日(火)

13:30開場、14:00開演

場所
のいちふれあいセンター
サンホール



◀詳しくはこちら

手話通訳
要約筆記あり

入場
無料
申し込み不要



講師
フリージャーナリスト
にしだ まさや
西田 昌矢 さん